

道徳便い

鹿島小学校 No.2

令和4年8月23日

7月12日には、5年2組での研究授業が行われました。授業の様子をお知らせします。

○教材名「藤井駅のホームでのできごと」 ○価値項目「親切、思いやり」

○授業の概略

本教材は、駅のホームで電車を待っていた「わたし」が向かい側のホームに困った様子のおばあさんがいることに気付き、何とかしたいと母に相談し、おばあさんを助けるという話である。「わたし」「母」「おばあさん」「周りにはいた人」などいろいろな立場の気持ちを考えて、誰に対しても親切にしようとする心情を育てる授業です。

○授業を振り返って

「①身近な人が困っていたら親切にするか」、「②見知らぬ人が困っていたら親切にするか」の5年2組で事前に実施したアンケート結果をグラフ化したものを見ることから、授業が始まりました。見知らぬ人に対しては親切にする行動をとる人が少ないことから、子どもたちと話し合いながら、問いを「『親切にしよう』とする心は、どこにあるんだろう。」にしました。



子どもたちは、「わたし」「母」「おばあさん」「周りにいた人」の立場や思い、行動の理由などを考え、いろいろなものの見方があることに気付きました。

また、困っている人を見ると放っておけない心があり、誰にでも親切にしようとする気持ちが高まったようです。

～学習の感想より～

・身近な人でも見知らぬ人でも「親切にしよう」という思いを忘れずに、誰にでも「親切」にしようと思った。

・気まずくてもどうしても助けたいと思う心が大切だと思ったし、自分でも困ったことがあったら自分で考えて行動するのが一番だと思います。

・相手の気持ちをよく考えて助けてあげたいという思いを自分の生活に生かしたいです。私が困ったときに助けてくれた友達に、親切にしようと思います。・誰かを助けてあげると、自分まで嬉しい気持ちになることが分かりました。人助けってスッキリするんだと思いました。

以上のような回答があり、今後、相手の心を思いやり、進んで親切にしようとする心情が高まっていたようです。

今後も、他教科と関連させながら指導を続けていきます。



進んで挙手をするお子さんが多いです。真剣に学習に取り組んでいます。



